

動植物園だより

平成26年10月
秋冬号

Vol. **113**

(公財)福岡市 緑のまちづくり協会
福岡市動植物園

植物園特集

植物園で 実りの秋を見つけよう

イベントインフォメーション(スケジュール・レポート)

植物園散策カレンダー

植物園TOPICS「四阿でほっと一息」

合同
特集

夜の動植物園

動物園特集1

色とりどりの鳥の世界

動物園特集2

動物園とともに45年

元飼育員井口さんに聞きました(前編)

動物園TOPICS

イベントインフォメーション



クチナシ

初夏に咲く白い花と甘い香りでも知られていますが、秋になると赤黄色の実をつけます。実は食品の色づけ(たくあんや栗きんとん)に利用されます。



ヒゼンマユミ

長崎で発見され、北部九州・山口地方にある常緑樹です。熟した黄色の実からは橙色の種が顔をのぞかせており、冬の庭園を明るくしてくれます。

フウセントウワタ

南アフリカ原産らしい、野性的な外見。実の形が面白いので生け花によく使われます。風船のような袋状の実は、割れると白い綿毛のついた種が出てきます。



フユサンゴ

タマサンゴ、リュウノタマなどの別名があります。丸く色鮮やかな実は熟していくうちに黄、橙と変化します。ただし実には毒があり、口にするのは危険です。



アリドオシ

枝の上下にあるトゲが特徴。蟻でも刺し通す、また蟻のような虫でないと通れないという意味でこの名がつけました。「一両」という別名もあります。



コトネアスター

バラ科の常緑樹。春に小さな白い花が咲き、秋になると小さな実が赤く色づきます。枝は低いところで地面をはうようにのびていきます。



ナンテン

名前の語感が「難(ナン)を転(テン)じる」=幸福になるとされ、縁起のよい木として親しまれています。お正月の門松や生け花に使われます。



サンゴジュ

小さい花が円すい状になって咲き、実が珊瑚に似ていることから「サンゴジュ」。水分の多い葉や枝に耐火性があるので、生け垣などによく見られます。

特集

植物園で実りの

秋は実りの季節。春に花が咲き、夏に成長した木々は実をつけ始め、赤や黄も用途も多様な木の実の数々。紅葉と一緒に探して楽しんでみませんか？

赤や黄に染まる実が多いのはなぜ？

実の中にある種は、できるだけ色々なところに飛んで、樹木の子孫を残さないといけません。そんな時に役立つのが鳥たち。鳥に食べてもらうことで、遠くへと種を運んでもらうのです。赤や黄色など、おいしそうに鮮やかに色づくことで「食べごろ」を合図しているのです。特に鳥は赤色を識別できるので、山には赤い実が多くなったといわれています。大きさも、鳥の口に合うように小さめです。

では、茶色や黒などの実は？主にネズミやイノシシなど小動物向けの食料になることが多いので、きれいな色になる必要がなかったということかもしれません。また、風に乗って運んでもらうモミジバフウやユリノキなどは、よく飛ぶように翼に覆われたような形をしています。

実の数は気候と関係があるの？

実の数は、気候よりも実(種子)を効率よく運べるかに関係しています。風で運ばれる場合は自然条件に左右されるため、なるべくたくさんの実をつける傾向があります。対して、鳥や小動物が食べて糞で落とすことで運ばれる場合は、比較的効率良く運べるのでそれほど多くの実をつけません。

実の楽しみ方、いろいろ

人は古くから木の実をさまざまな用途で利用してきました。現在も観賞用のほか、食用、工芸などで親しまれています。

例えばムクロジ。種を包んでいる果皮にはサポニンという洗浄成分があり、水に浸すと石けんの代わりとして使えます。黒い種は羽根つきの羽根や、数珠の材料として重宝されています。その昔、お釈迦様がムクロジの実108個から数珠を作ったという逸話も残されている、仏教とは縁の深い実です。このようにいろいろな使い方から歴史や文化なども垣間見れるのが、木の実の魅力の1つといえます。

また、「とちもち」で知られるトチノキの種(トチノミ)やどんぐりは、写真のような可愛い人形になります。園内の「緑の情報館」で展示していますので、のぞいてみてください。



秋を見つけよう！

などに美しく色づきます。



カリン

花も実も楽しめる樹木は庭園樹として人気があります。大きな実は黄色になると香りがよく、薬用効果もあり、咳止めの薬として古くから重宝されてきました。

ムクロジ

薄黄色の皮をはぐと、かたく黒い実(種)があらわれます。「無患子」という漢字から、無病息災の意味もあります。黄葉の姿も美しい木です。



モミジバフウ

紅葉が美しく、葉がモミジに似ています。トゲに覆われた、見かけもユニークな実は冬の間に長く残ります。クリスマスリースに使われることも。



コムラサキ

涼しげな薄紫色の花が咲いた後、直径3ミリほどの丸く小さな実がたわわに付き、紫の色が濃くなっていきます。庭木や鉢植えでよく見られます。

ユリノキ

初夏、枝先にチューリップのような花をつけるため、英語ではチューリップツリーといえます。秋に黄葉し、パドミントンの羽根のような実をつけます。



イベント インフォメーション

EVENT INFORMATION

植物園で2014年4月から9月までに行われたイベントと、これから行われるイベントを紹介します。

＊ 春から夏に行われたイベントレポート ＊

4月 春の茶会 ■ 4/5、4/6、4/13



表千家、裏千家、南坊流各流派のご協力により、春の茶会を開催しました。天候不順により会場を野草園から情報館2階に変更、窓から見える満開の八重紅枝垂れ桜を背景にお点前を楽しんでいただきました。

5月 植物画展～バラ科の植物～ ■ 5/13～5/18



ふくおか植物画会の主催による植物画展を開催しました。今回は世界に3千種以上あるといわれるバラ科植物をテーマに、会員の皆さんが描かれたボタニカルアート23点を展示。多彩なバラ科の植物画を観賞していただきました。

5～10月 講座「植物画入門講座」(連続6回) ■ 5/21、6/25、7/23、8/20、9/24、10/15



画家の元木敏博先生の指導とオリジナルテキストを参考に、植物画(水彩画)の描き方を基礎・基本から学ぶ6回連続の実践講座です。講師の実技面の指導はもちろん多分野にわたるユニークトークも好評です。

7月 講座「クリスマスローズ基礎講座」 ■ 7/12



多くのご要望にお応えした新規の講座です。九州クリスマスローズ普及協議会の皆さんの指導で、クリスマスローズの基礎知識や栽培管理などの講義と、株分けの実演を行いました。参加者には専用培養土がプレゼントされました。

5月 春のばら展 ■ 5/9～5/11



福岡バラ会の主催による「第125回春のばら展」を開催しました。さまざまな品種のバラやコンテストの入賞品の展示のほか、栽培相談コーナーや苗販売も行ってバラの魅力を楽しんでいただきました。

5月 講座「フラワーアレンジメント基礎講座」 ■ 5/15



日本フラワーデザイナー協会派遣講師による指導で、スプレーデルフィニウム、トルコキキョウ、スプレーカーネーション、カスミウなどを花材にし、「初夏を彩るフラワーアレンジメント」を全員が完成させました。

6・7月 旬の植物ガイド ■ 6/14、7/19



季節ごとに選んだ園内の植物20種を中心に、緑の解説員が案内・解説する観察会です。6月はジャカラダ、ハカタユリ、ハンゲショウなど、7月はハマボウ、ゲットウ、ヘリコニアなど、毎回、旬の植物を楽しんでウォッチングしています。

7・8月 春のこどもスケッチ大会作品展 ■ 7/15～8/31



3～5月に園内で開催した大会でこどもたちが描いたスケッチ作品34点を展示。作品には、こどもたちが感じた花や木の生き生きとした表情が描かれていました。

2014年10月～2015年3月 秋冬のイベント＊

10月 秋のバラまつり ■ 10/24～11/3

10月24日(金)から11月3日(祝・月)まで秋のバラまつりを開催します。秋のバラは、春に咲くバラに比べて色つやがよく、また、花持ちがいいといった特徴があります。バラ園で見ごろとなった250種1100株のバラの展示のほかに、バラまつりの中では、福岡ばら会によるバラ展やコンサート、体験型のイベントとしてバラのクイズラリーなどを行う予定です。ぜひお越しください。



11月 第19回福岡市植物園 植物画コンクール作品募集 ■ 11/1～1/31

植物画を描くことにより植物へ興味を持ち、自然保護への関心を高めるため、今年も植物画コンクールを実施します。募集要領等は植物園、福岡市情報プラザ、各区役所、公民館等で配布します。植物園ホームページでも確認できますので、ぜひご応募ください。

1月 七草粥会 ■ 1/6

1991年から行っている冬の植物園の風物詩。本来1月7日の朝に食べますが、毎年ひと足早く試食を先着200名に振るまっています。

3月 第17回福岡市植物園蘭展 ■ 3/17～3/22(予定)

温室で、洋ラン・東洋ランの展示を行います。愛好団体によるランの展示のほか、押し花工芸やハンギングバスケットの展示も行います。その他にも吹奏楽部によるガーデンコンサートやチャリティーオークションも行う予定です。洋ランと東洋ランが一堂に会する、滅多にない機会です。ぜひご覧ください。

秋冬 イベントスケジュール

イベント	ハーブまつり	10/25～10/26	講座	ハンギングバスケット基礎講座	10/29
	グリーンアドベンチャー	10/26		秋の庭木の管理	11/7
	都市緑化月間無料開園	10/26		生花で「フラワーケーキ」をつくりましょう	11/8
	お年玉プレゼント	1/2		バラの手入れと管理	11/13、1/22
展示会	さくらのクイズラリー	3/29(予定)	観覧会・体験教室	カンランを育ててみよう	11/21
	どんぐりの標本展(緑の情報館1階)	10/15～11/3		寄せ植え講座	11/26
	秋の盆栽展(緑の情報館2階)	10/17～10/19		押し花教室(連続4回)	12/9、1/20、2/10、3/10
	押し花工芸展(温室ギャラリー室)	10/21～10/26		お正月を飾るプチ盆栽づくり	12/13
	秋のばら展(緑の情報館2階)	10/24～10/26		ハーブの効用	2/6
	ピースプラントの花鳥画展(温室ギャラリー室)	10/28～11/9		冬の庭木の管理と梅の花後の剪定	2/13
	寒蘭花展(温室ギャラリー室)	11/11～11/16		秋のどんぐり工作体験教室	10/4、10/5、10/11～10/13
	寒蘭展(温室ギャラリー室)	11/18～11/24		旬の植物ガイド	10/11、1/10、3/7
	押し花教室受講者作品展(緑の情報館1階)	11/18～11/30		マイひょうたんづくり体験教室	11/2
	花と緑のまちかど写真コンテスト入賞作品展(緑の情報館1階)	12/2～12/21		植物観察会～紅葉とドングリの科学～	11/15
	第8回九州クリスマスローズ展(温室ギャラリー室)	2/7～2/8		親子体験教室～リースづくり～	12/6
	第19回福岡市植物園植物画コンクール入賞作品展(緑の情報館1階)	2/21～3/1(予定)		冬の野鳥観察会	12/14
	第19回福岡市植物園植物画コンクール入賞作品展(アクロス福岡)	3/2～3/8(予定)		冬のどんぐり工作体験教室	12/20～12/24
				レモンガラスでしめ縄づくり	12/21
				植物観察会～常夏の温室植物～	2/7
				かずら工芸	2/15

※日程に変更がある場合がございます。詳しくは予定日の1か月前をめどにお問い合わせください。 福岡市植物園：092-522-3210
※ホームページからも参加申込を行っております。 <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>

あずまや

四阿でほつと一息



花木園A

正門から右前方に進んだ、ゆるやかな丘の上にあります。サクラやツツジなど、春のにぎわいを満喫できます。



野草園

野草に囲まれ、のどかな気分にひたれる場所。ボタン、ウメ、サクラなど早春から植物たちの息吹を感じることができます。



庭木園

普段は静かで落ち着いた雰囲気ですが、目の前の紅葉樹が色づく頃には、華やかな秋の彩りを楽しめます。



モデル庭園

周囲の庭園をじっくり観察できます。人通りが比較的少なく、ゆっくり休憩したい方にもおすすめ。



今年の4月から野草園の四阿で俳句の展示をしています。
この俳句展示は、植物園で句会を開いている「植物句会」松尾康乃主宰のご協力のもとで展示しています。
園内で目の前にある植物を楽しむだけでなく、
俳句作者の感覚を通して植物を楽しむことができると、ご好評をいただいています。
約1か月おきに展示の入れ替えを行っておりますので、みなさまぜひお立ち寄りください。

園長日記

初夏に青い花が多いのはなぜか？

福岡市植物園園長 上田 裕貴

先日、植物園職員の話の中で、「6月は青や紫の花が多いけれど、なぜだろう？」との話になりました。植物園には、市民のみなさんからの緑や花の疑問にお答えする「緑の相談員」の先生がいます。先生曰く、「初夏は年間で最も紫外線が強い時期、紫外線防止と関係があるかもしれない」とのこと。さらに、「春は黄色い花が多い…」と話はつづきました。

植物のナソのうち「葉っぱはなぜ緑色なのか？」というテーマについては研究が進んでいます。葉が緑色になった背景には、光合成を効果的に行うための植物たちの驚くべき戦略があります。（ご興味ある方は『これでナットク！植物の

謎Part2』講談社2013年発行）138ページをご覧ください。本は植物園の「緑の情報館図書コーナー」にもあります。）

私たちが現在見ることができ植物たちは、4億年もの進化の歴史の中で生き残ってきた強者達です。それら植物たちの姿、生理、生態が、多くの戦略のもとにできあがってきたことを知ると、少しだけ世界を見る目が変わってくると思います。

植物園では、毎月、「緑の解説員」による植物観察会を開催しています。また、土・日、祝日には、ガイドボランティアによる解説もおこなっています。植物に少しでも興味がある方は、ぜひともご体験ください。詳しい人から話を聞きながら植物を観察すると、イキイキとした植物の世界が広がって、アツという間に時間が過ぎてしまふこと受けあいです。

ガイド

ボランティア

募集

福岡市植物園では、ガイドボランティアを随時募集しています。

花や木に興味のある方はお気軽にご応募ください。資格は特に必要ありません。

原則、土曜、日曜、祝日の10時から15時までの間、来園者の方へ見頃の花をガイドしています。詳しくは、植物園事務所へお問い合わせください。

植物園散策カレンダー

2014.10 ▶ 2015.3

秋冬に楽しめる花々は数百種類ありますが、10月から3月まで園内で見ることができる代表的な花々の見頃を紹介します。お出かけの際にぜひ参考にしてください！



コスモス



バクチノキ



ジュウガツザクラ



コブクザクラ



コウテイダリア

● ジュウガツザクラ

花弁は10枚程度で、縁が薄く紅色になります。名前のとおり10月頃に花を咲かせます。また、10月だけでなく4月頃にも開花することから、年2回、花を楽しむことができます。

和 名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フジバカマ						
ホトトギス						
コスモス *						
キンモクセイ						
バクチノキ *						
タイワンツバキ						
バラ (秋)						
ジュウガツザクラ *						
コブクザクラ *						
ツツブキ						
オキナワサザンカ						
ヒイラギ						
コウテイダリア *						
ヤツデ						
ソンスロウバイ *						
スイセン						
カンザキアヤメ						
シナマンサク						
ウメ *						
フクジュソウ						
カンザキハナナ *						
クリスマスローズ *						
マンサク						
カンヒザクラ						
サンシュユ *						
アオモジ						
アンズ						
ユキヤナギ						
ジンチョウゲ						
ハクモクレン						
モモ *						
ミツマタ						
シュゼンジカンザクラ						
ヨウコウ						

※気候により時期がずれる場合があります。
※掲載している写真は、和名の後に*印がついている花になります。



ソンスロウバイ



カンザキハナナ



ウメ



クリスマスローズ



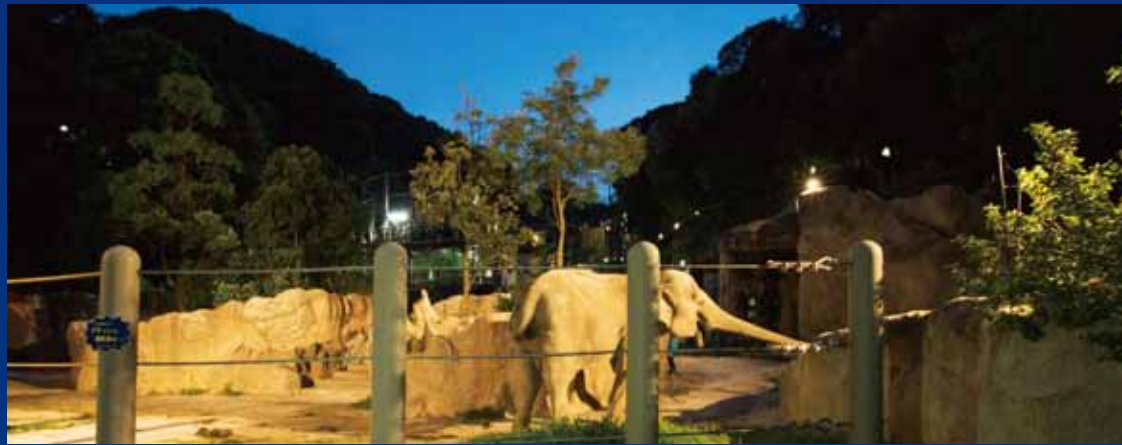
サンシュユ



モモ

動物園

動物たちの、昼とは違う姿が楽しめる動物園。完成後初の「夜」公開となった「アジア熱帯の溪谷エリア」のほか、さまざまな新企画でも大いに盛り上がった5日間でした。



正門から左前方すぐにある「アジア熱帯の溪谷エリア」へ向かうと、まずはゾウの「はな子」がお出迎え。ライトで照らされた夜の運動場を悠々と歩きます。夜も変わらず、のんびりと食事をしている様子などを見せてくれました。



ヒョウやサイチョウ前の通路もお客さんでいっぱい。ヒョウがちよっとずつ体を動かすたびに、歓声があがっていました。



ライオン舎やトラ舎の前には常に人だかり。寝室の中が明るいので、歩く姿やエサを食べている姿を、窓から観察できます。



市内外の有名かき氷店が集結した「ICE ZOO『氷フェス』」。今年が初の開催でした。土・日限定の氷のお祭りは夜の動物園でも大好評。



夏の恒例「氷のプレゼント」。今年は過去最多の動物に、好物を入れてあげました。レッサーパンダはリンゴ入りの氷に夢中です。



昼間よりも涼しいからか、活発に歩き回るミナミシロサイの「ロック」。意外にすばやい動きで、お客さんを驚かせていました。



動物科学館では通常の展示に加え、カンガルーなど夜間非公開の動物の寝室を、赤外線カメラで撮影してリアルタイム中継する新しい試みも。

植物園



日没後、灯明が薄暗い園路をやさしく照らしました。やわらかな光が、静かな植物園によく合います。動物園の賑わいから離れ、落ち着いた園内をゆっくり歩くことができました。



展望台からは福岡市内を一望できる夜景が。ちょうど近隣で行われていた花火大会をバッチリ見物できた日もありました。



ひときわ明るい温室の中は緑あふれる空間が広がります。中庭には涼やかな風が通り抜け、木々をゆらす音が心地よく感じられました。



ヤコウボク、ユウガオ、サガリバナなど夜に咲く珍しい花が見られるのも、「夜の動植物園」ならではの。花の色も暗がりの中でよく映えます。

パワフルなステージを披露!博多工業高校音楽部

8月23日には博多工業高校音楽部によるコンサートを開催。ラテンからポップスまで幅広いジャンルの音楽を10代らしく熱く、楽しく、さわやかに聴かせてくれました。初の試みでしたが、夕暮れ時の植物園は皆さんと一緒に大いに盛り上がりしました。



入園者数は
過去最高の
49,920人
(5日間合計)

真夏の夜の特別公開
今年も大好評!

夜の動植物園

色とりどりの鳥の世界

動物のなかでも特に色彩ゆたかな鳥類。福岡市動物園でも、さまざまな鳥たちがおしゃれを競っています。

ぜひ園内を巡って、ファッションチェックしてみませんか？

また、おしゃれの理由や謎について、動物相談員さんに聞いてみました。

どうしてオスの方が美しいの？



動物相談員
古賀 晋さん

鳥類は、進化の過程で空を飛ぶようになり、空からでも敵や味方、エサなどを見つけられるよう、視覚を発達させました。その後、色とりどりの羽毛を持つようになったと考えられています。色あざやかで美しい羽毛は、栄養状態が良いこと、そして、敵に分かりやすい不利をくぐり抜けてきた強さの証です。メスは子孫を残す相手に、そのような優秀なオスを選びます。オスはメスに選ばれるため、より美しく進化してきました。

一方、メスが地味なのは、卵を温めるとき、敵に分かりにくいいためとされています。逆に、オスが卵を温めるタマシギのように、オスが地味で、メスの方が目立つ色をしている鳥もいるんですよ。

なぜ色あざやかで美しいものが多いの？



動物相談員
齋藤 政勝さん

実は、動物の種類によって見えている色は違います。人間は赤・緑・青の3色の組み合わせで色を感じていますが、多くの哺乳類はそれよりも1色少なく、例えばイヌは赤と緑の区別が付きません。魚類・両生類・は虫類・鳥類の多くは、人間には見えない紫外線の一部まで見え、4色の組み合わせで哺乳類よりも多くの色を見分けられます。生き残るため色あざやかに進化した鳥たちは、使える色が哺乳類よりも多かった結果、今のおしゃれな姿になったんですね。

特にカラフルなのが、赤道に近い南国の鳥。多種類の鳥が暮らすジャングルでは、別の鳥との無駄な争いが起きないように、自分の体を色柄ではっきり区別します。また花、果物、空など環境の色にまぎれることで敵から見つかりにくくなるとも考えられています。

動物の色覚による見え方の違い

※画像の見え方はあくまでイメージです。

イヌ 2色型色覚



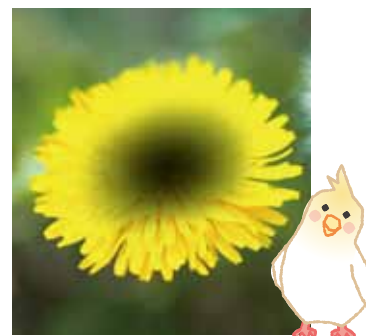
赤と緑の区別がつかない
(青と黄緑を感じる細胞しかない)

ヒト 3色型色覚



赤・緑・青の3色を
組み合わせて色を感じている

鳥類 4色型色覚



人間と同じ3原色に加え、
紫外線を見ることができる



ゴシキセイガイインコ

人なつこい2羽の好物は、
果物よりも粉末のエサです。



シワコブサイチョウ (左:オス 右:メス)

エサを器用にキャッチする芸達者。
オスから口渡しすることも。



オウギバト

頭の扇形の冠羽が名前の由来です。
動物園には父・母・娘の3羽の家族がいます。



インドクジャク (オス)

オス・メス・ヒナ合計で17羽。みんなが
食べられるよう、エサやりに気を遣います。

おしゃれ 鳥類 コレクション



キンケイ (左:メス 右:オス)

時期によってオスはあざやかな羽色に。
今年無事に3羽のヒナが誕生しました。



オオハナインコ (左:メス 右:オス)

オスもメスもカラフル。
野菜より果物が好物です。



ルリコンゴウインコ

落花生やひまわりの種が好物です。
お嫁さん募集中!



ショウショウトキ

生まれたときは黒く、
徐々に朱色に変わっていきます。

すべてが手探りの開園当時
福岡市動物園で働き始めたのは、開園1週間前のことでした。敷地は今の4分の1程度の広さしかなく、飼育員



いのくち まこと
元飼育員 井口 誠さん(81)

連続企画 動物園とともに45年 井口さんに聞きました(前編)

飼育員、動物相談員として45年を過ごした井口誠さん。福岡市動物園の歴史を身をもって体験してきた数少ない一人です。
戸惑い、苦労、喜び…
改めて語られる貴重なエピソードの数々をうかがいました。

ある日マントヒヒのメスのお尻が赤く腫れていることがありました。「病気だ！これは手術せんといかん！」と大騒ぎしているうちに治まりましたが、また腫れる…の繰り返し。実は発情期のサインということを知ったのは、ずいぶん後のことです。またある時はテナガザルが目はずっとこすっている、中からヒルが出てきて驚いたこともあ

忘れられない失敗の数々

当時は園の施設も簡素なものでした。木やフェンスの網で作った檻の中、動物にあてられるスペースは一畳もない広さです。宿直する時の寝床はソウ舎の天井裏。ソウのイビキの凄さは、その時イヤというほど思い知らされました。動物の脱走もしばしば。ニシキヘビや猿など園外に出る寸前で捕まえたものもありましたが、動物園の歴史に残る大脱走といえば、シマウマでしょう。逃げた2頭のうち1頭が、なんと西新まで逃げてしまったのです。

開園当時は、今では考えられないほど動物が様々な場所に出て、人と触れ合っていました。園内では定期的にゾウが散歩し、クマやヒョウの子どもは鎖に繋いだだけ。お客さんは喜んで触りに来ます。どんたくのパレードに参加したり、筥崎宮のイベントでサル

積極的に 動物が外に出ていた時代



動物達の生きた証を残そうと、剥製づくりにも進んで取り組んできた井口さん。動物科学館で見ることができます。

りましたね。当時は本も少なく、動物の体への知識もとぼしい私たちは、相談、試行錯誤しながら飼育していました。それでも、施設の不備や管理ミス等で犠牲になってしまった動物もいます。忘れられないのは1958年3月31日の火災です。ライオンなど10頭が命を落としたことは、大きな悲しみでした。寒さで死んでしまった動物もいました。現在の動物園にいたるまでには、犠牲になったものも決して少なくないということも覚えておいてほしいですね。

に甲冑を着せたりと外にも連れ出していました。特に動物が暴れた記憶もありません。担当の飼育員の言う事をよく聞いて大人しくしていたものです。1950年代半ばからは、動物たちがさまざまな芸を披露する「動物ショー」が人気を呼びました。時間になるとステージ(今のレッサーパンダ舎のところ)にありました。大変な人だかり。類人猿は頭が良いので、いろいろな芸をすぐ覚えることができました。自転車、三輪車、綱渡り、竹馬など器用にこなすとお客さんは大喜び。娯楽の少ない時代ですから、動物たちはどこに行ってもはやされる存在でした。懐かしい時代の思い出です。

次号(春夏号)に続く



動物ショーのアナウンスがあると、園内中のお客さんがステージに集合。子どもも大人も目を輝かせました。

世界の国鳥

色とりどりのファッションショーを楽しんだあとは、世界を旅してみませんか!?
福岡市動物園には、世界の国々で国鳥(その国を代表・象徴する鳥)となっているものもたくさん。
鳥と国とを結んだ意外なエピソードと共にご紹介します。



キジ
日本

昔話「桃太郎」だけでなく、万葉集やことわざの中にも登場し、日本人に馴染み深いキジ。狩猟や食用の伝統も長く、1947年、日本鳥学会が国鳥に選びました。



フラミンゴ
バハマ

ピンク色の体が炎のようにうつつたのか、名前はラテン語のflamma(炎)に由来します。国章に描かれたフラミンゴは、バハマの大地を象徴しているそうです。



チョウゲンボウ
ベルギー

空を滑るように飛ぶ姿がトンボを思わせるので、トンボの方言「ゲンザンボウ」から「鳥ゲンザンボウ」、縮まって「チョウゲンボウ」の名がつけました。



コンドル

ボリビア／チリ／
コロンビア／エクアドル

空を飛ぶ鳥の中では世界最大級。生息地の南アメリカには、国章にコンドルを描く国がいくつもあり、力や勇氣、意志などを象徴しています。



シュバシコウ
ドイツ／リトアニア

高い塔や人家の屋根に巣を作り、つがいで協力して子育てをするため「赤ん坊や幸福を運んでくる縁起の良い鳥」として親しまれています。



インドクジャク
インド

雑食でサソリや毒蛇も食べることから、人間に役立つ鳥として保護されました。転じて、仏教では苦しみを取り除く「孔雀明王」として信仰されました。



オジロワシ
モンゴル

ワシやタカなどを狩りに使う「鷹狩」は、モンゴル高原の遊牧民族から生まれ、世界中に伝わったとも言われます。オジロワシは古くから馴染み深い鳥でした。



ヘラサギ
オランダ

先がへら状になったくちばしが名前の由来。サギではなく、トキの仲間です。ユーラシア大陸の湿地帯に生息し、日本にも、冬に少数が飛来します。



アカカザリフウチョウ
ババニューギニア

交易用に足を切り落とされた姿から、風に乗って一生飛びまわる鳥だと誤解されました。フウチョウ(風鳥)という名前も「エサは風」という誤解から。



ホオジロカンムリヅル
ウガンダ

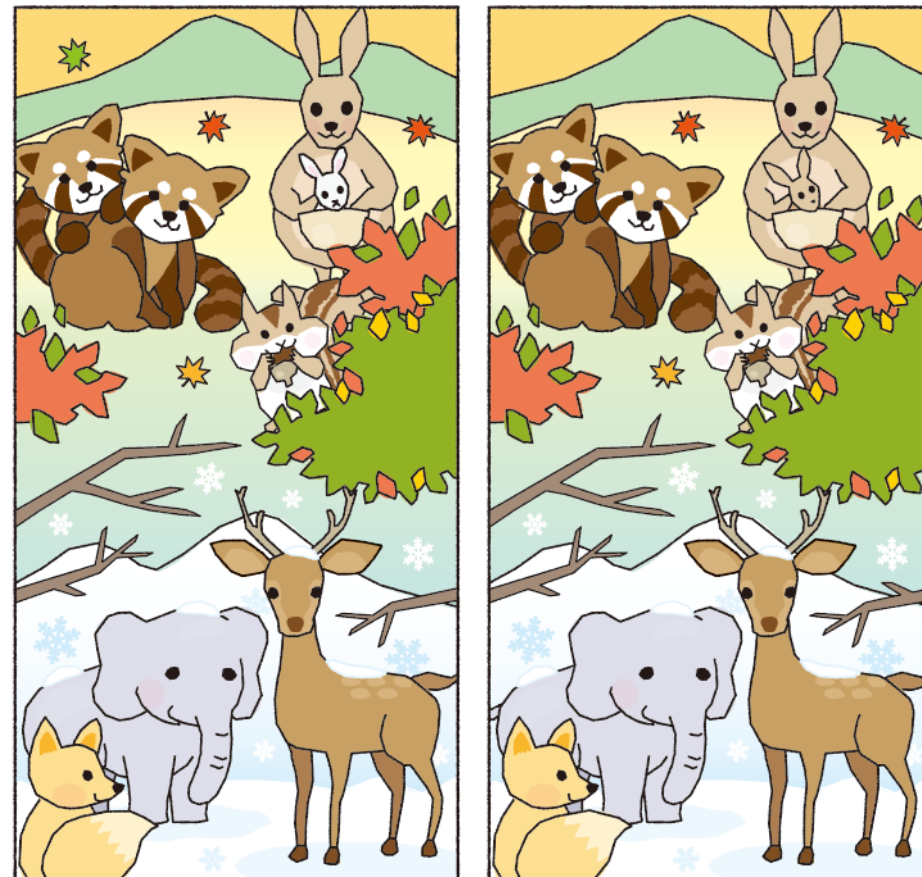
古くからこの地域で愛された鳥で、国旗を決めるとき、歴代の王朝が「一度も使ったことがない」という中立性から、新しいシンボルに選ばれました。



ショウジョウトキ
トリニダード・トバゴ

南アメリカ北部の沿岸にだけ生息するトキの仲間です。1962年の独立では、ショウジョウトキをはじめ、地域独自の鳥たちが国章に描かれました。





ハイレベル
間
違
い
探
し

間違いは6つあるよ！
探してみてね！

日本動物大賞功勞動物賞を受賞

2013年にリニューアルが完成した「アジア熱帯の溪谷エリア」では、2012年からオランウータンとシロテテナガザルを混合飼育中です。そんなオランウータンの「ユキ」とシロテテナガザルの「タキ」が、第6回「日本動物大賞」功勞動物賞を受賞しました。同賞は、(公財)日本動物愛護協会が「人命救助」「長寿」「人と動物の共生への理解に貢献した」などの功勞を認定した動物に与える賞です。混合飼育への取り組みが、人と動物の共生社会という未来につながる

試みであると評価され、昨年の「エンリッチメント大賞2013」に続いての受賞となりました。



福岡市動物園ホームページ

■ お楽しみコーナー開設

動物園ホームページにお楽しみコーナーとして、2つのコンテンツを開設しました。「どうぶつ雑学」では、動物についての素朴な疑問やマニアックな知識について、わかりやすく解説。「どうぶつ壁紙」では、動物たちの日常を切り取った写真を配布しています。30種類以上の中から、お気に入りの1枚を探してみてください。



■ スマートフォン専用ページ開設

動物園ホームページがスマートフォン(以下スマホ)からも見やすくなりました。スマホ専用ページ限定で、福岡市動物園オリジナルフォトフレームを用意しています。スマホで撮った写真と合成して、動物たちとのツーショットはいかが？ フレームは6種類に増えました。お好きな動物との一枚をぜひ。



<http://zoo.city.fukuoka.lg.jp/sp/>

イベント インフォメーション

動物園でこれから行われるイベントを紹介します。HPで最新情報をご確認ください！

福岡市動物園

2014年10月～2015年3月 秋冬のイベント

11月 大人のための飼育体験講座

■ 11月2日(日)

対象者：中学生以上で健康な方
定員：50名(応募多数の場合は抽選)
申込方法：往復ハガキ ※詳しくはHPでご確認ください。
締め切り：10月10日(金・必着)

県外から参加する人もいるほどの人気企画。対象は中学生以上です。獣舎の掃除など、飼育員の日常の仕事を体験できます。当日は汚れてもよい服装と、弁当、水筒、長靴、タオル、筆記用具などを準備してください。



11月 動物サポーター限定「秋のバックヤードツアー」

■ 11月23日(日)

参加資格：福岡市動物園動物サポーター(平成25年11月～平成26年10月に登録された方)
定員：50名(応募多数の場合は抽選)
申込方法：ハガキ ※詳しくはHPでご確認ください。
募集期間：10月1日(水)～31日(金・必着)

事前に申し込み、当選した動物サポーターの方が対象です。当日は10コースに分かれて約1時間、いろいろな獣舎を回ります。普段入ることができない獣舎の裏やエサやりなど、動物たちを近から感じられる特別な体験があなたを待っています。



1月 新春福引大会

■ 2015年1月2日(金)

場所：動物園正門で整理券配布(人数限定・先着順)
※西門、植物園正門では配布しません。
毎年恒例の新春福引き大会を開催します。今回もシカの角やクジャクの羽根、動物園オリジナルグッズなど、動物園らしいユニークな景品を用意しています。ぜひご参加ください。(景品は予定)

2014年10月～2015年3月 イベントスケジュール

- 10月 動物絵画コンクール入賞作品展示
■ 10月16日～25日予定
都市緑化月間無料開園日
■ 26日
- 11月 写真コンテスト入賞作品展示
■ 10月28日～11月9日予定
- 3月 「粘土で遊ぼう」 ■ 21日

★間違い探しのこたえ★ ①左上に紅葉があるよ ②カンガルーの子どもがうさぎになっているよ ③レッサーパンダのしっぽの模様が違うよ ④右下の枝の数が違うよ ⑤ぞうのしっぽがないよ ⑥きつねのしっぽの模様が違うよ

グッズ&グルメ 紹介

動物や植物以外にも楽しいことがいっぱい！人気のお土産や園内の食事スポットを紹介します。(価格は全て税込)

Goods 動物園売店(ログハウス)

■ 中央食堂横



缶バッチ(250円)とポストカード(150円)

シール(180円)をはじめ、福岡市動物園の動物たちの写真を使った、ここでしか手に入らないオリジナルグッズがたくさんあります。

売店「花香房」

■ 植物園正門横 緑の情報館1F

人気のハーブピローは枕に入れて香りを楽しむと共に、快眠効果もあります。

さまざまな花が描かれた、美しいステンドグラス風のしおりも売れ筋です。



ハーブピロー(540円)
ステンドブックマーカー(380円)

Restaurant 軽食・喫茶「花の風」

■ 植物園展望台1F



ハーブティー(400円)

落ち着いた雰囲気店内や、明るい陽を浴びながらの外の席で、軽食を楽しめます。おすすめはハーブティー。開店当時から的人气メニューです。さわやかな香りが特徴のオリジナルブレンドで、香りの強い生のレモングラスを使うのがこだわりです。最近は、たこ焼き(410円)と合わせての注文も多く「相性がいい」と意外な好評を呼んでいるとか。

動物サポーター会員募集!

動物サポーターとは、皆様にサポーターとして動物たちのエサ代を支援していただくことにより、動物園で飼育している動物により親しみを持っていただくための制度です。寄付金は、一口1,000円で何口でも寄付いただけます。また、企業・団体(50口以上)のサポーターも募集しています。

動物サポーター限定企画
ツシマジカのバックヤードガイドの様子



動物サポーター特典



Vol.112
平成26年4月春夏号

お問い合わせ

- 特典1** 動物園だよりの配布
- 特典2** 登録証(年間無料パスポート)の発行
- 特典3** サポーター限定のイベントに応募できます

福岡市動植物園 総合案内所
TEL 092(531)1968

平成25年度サポーター報告

平成25年度
企業サポーター
(100口以上)

プラチナクリニック
(株)マインド
(株)ベネッセコーポレーション

平成25年度
登録者

9,432人

平成25年度
寄付金総額

11,587,000円

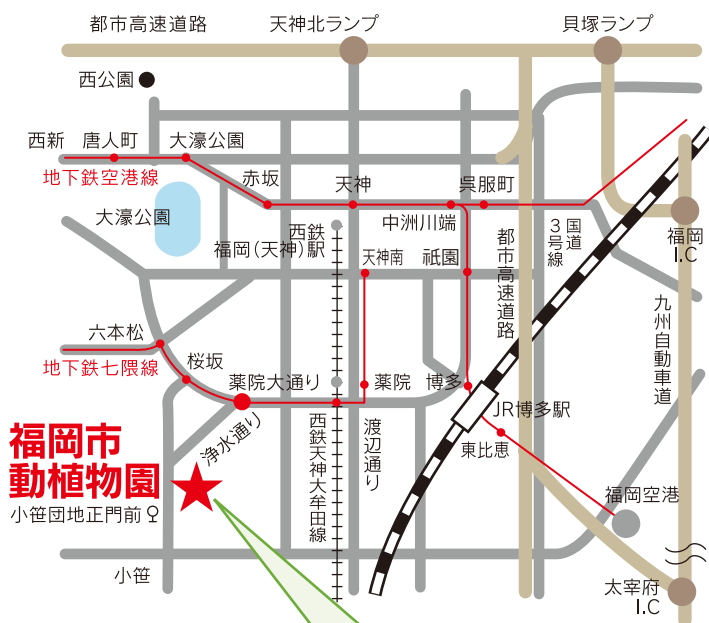
※企業サポーター含む

たくさんの方に登録いただき、心より感謝いたします。
寄付金は動物のエサ購入費に充てさせていただきました。
今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



平成26年度登録証(写真はコヅメカワソウ)
平成26年4月登録分から配布

福岡市動植物園のご案内



福岡市動植物園
小笹団地正門前

土・日・祝日は大変混雑しますので公共交通機関をご利用ください。



もよりの
バス停

動物園

『動物園前』(25・1・56・58番)
『上智福岡中高校前』(56・57・58番)

※「上智福岡中高校前」バス停ご利用の方は動物園西門が便利です。

植物園

『小笹団地正門前』(56・57・58番)が
便利です

●地下鉄利用の場合

地下鉄七隈線
「薬院大通り」下車
2番出口

「薬院大通り」25・1・56番・58番
バスで約6分(土・日・祝 約10分おき)

徒歩で15分

●西鉄電車利用の場合

西鉄天神大牟田線
「薬院駅」下車
南口

「薬院駅前」25・1・58番バスで約10分
(土・日・祝 約20分おき)

●バス利用の場合

博多駅方面から

「博多駅前A」58番バスで約20分
(土・日・祝 約20分おき)

天神方面から

「天神協和ビル前(10)」56番・57番
バスで約20分(土・日・祝 約10分おき)
※57番は「動物園前」を経由しません。

休園日 毎週月曜日(月曜日が祝日の時はその翌日)
年末年始12月29日～1月1日
※平成27年3月30日(月)は開園します。

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)

無料開園日 10月26日(日曜日)

入園料 大人400円(320円)、高校生200円(160円)
中学生以下無料()内は30人以上の団体料金

※障がい者の方、福岡市・北九州市・熊本市及び鹿児島市居住の65歳以上の方、無料。

手帳等をご提示ください。

※動物サポーター登録の方は登録証(年間パスポート)提示で無料になります。

※「植物園友の会」会員の方は「会員証」提示で無料になります。

駐車場 小型車500円、中型車1,000円、大型車2,000円

福岡市動植物園 総合案内所

TEL 092-531-1968 〒810-0037 福岡市中央区南公園1番1号

●動物飼育数(平成26年8月末現在)

ほ乳類 39種211点
鳥類 66種248点
は虫類 16種57点
合計 121種516点

●植物展示数(平成26年8月末現在)

温室 1,240種
野外 1,400種
合計 2,640種

●ホームページ

動物園 <http://zoo.city.fukuoka.lg.jp>

植物園 <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp>

動植物園だより

第113号 平成26年10月発行

発行/(公財)福岡市緑のまちづくり協会

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目3-26
(福岡タワーセンタービル2階)
TEL 092-822-5835

編集/福岡市動植物園

〒810-0037 福岡市中央区南公園1番1号
TEL 092-531-1968(総合案内)

制作/大成印刷株式会社

〒812-0892 福岡市博多区東那珂3丁目6-62
TEL 092-472-2621

動物取扱業者標識

氏名	福岡市長 高島宗一郎
所在地	福岡市中央区南公園1番1号
登録番号	動管第E2402081号
有効期限	平成29年7月3日
名称	福岡市動物園
種別	展示
登録年月日	平成19年7月4日
動物取扱責任者	吉柳 善弘